

交換は
7月31日(金)までに

物価高騰対応家計応援デジタルポイント

市では、市民の皆さんの経済的な負担を軽減するため、4,000円相当のデジタルポイントを給付しています。

これに伴い、「受け取り方法が分からない」といった皆さんの困り事に応える、コールセンターを開設しています。

受付日時=毎日(土・日曜日、祝日を含む) 午前9時～午後5時

電話番号=050-6892-0001

コールセンターへつながらない場合は
回線が混雑していて、コールセンターへつな

らない場合があります。その場合は、5日以内にコールセンターから連絡します。

専用フォームでも受け付けていますので、活用してください。



専用フォーム

スマートフォンでの受け取りが難しい人へ

VISA加盟店で使えるギフトカードを郵送します。7月31日までにコールセンターへ連絡してください。

※電話の掛け間違いに注意してください。くわしくはコールセンターへ。

熱中症予防

急に暑くなった日は特に注意を

「熱中症警戒アラート」は、熱中症による健康被害が生じる恐れがある時に、「熱中症特別警戒アラート」は、熱中症による重大な健康被害が生じる恐れがある時に発表されます。



なりたメール
配信サービス

市では、熱中症に関する情報を防災行政無線や、なりたメール配信サービスでお知らせしています。

特別警戒アラートが発表されたら

- 行事などは中止・延期・変更する
- 周囲の高齢者や子どもに声を掛ける
- 外出時はエアコンの効いている建物に一時的に避難する

危険な暑さの時は涼しい場所に避難を

特別警戒アラートが発表された時は「クーリングシェルター」として、次の施設と協力店舗が開

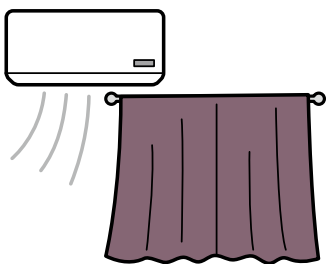
放されます。

対象施設=市役所、大栄支所、保健福祉館、中央・下総・大栄公民館、市立図書館、中郷ふるさと交流館、赤坂ふれあいセンター、男女共同参画センター、三里塚御料牧場記念館、下総歴史民俗資料館、成田観光館、まちかどふれあい館、豊住ふれあい健康館、国際文化会館、三里塚コミュニティセンター、もりんぴあこうづ

協力店舗=イオンモール成田、そよら成田ニュータウン、ユアエルム成田店、イオンタウン成田富里、みずき薬局成田店

※クーリングシェルターの協力店舗を募集しています。くわしくは、クーリングシェルターについては環境計画課(☎20-1533)、そのほかについては地域医療政策課(☎27-1119)へ。

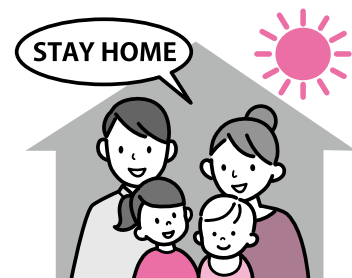
熱中症予防行動のポイント



エアコンや遮光カーテンを利用して室温を適切に管理する



喉が渇く前に小まめに水分補給をする



体調が優れない時は外出を控える

世界少年野球大会

特別企画の参加者を募集します

日米のホームランキング、王^{おうさだはる}貞治さんとハンク・アーロンさんが提唱し、毎年開催されている世界少年野球大会が、今年は本市で開催されます。

これに合わせて、親子で参加できる特別企画の参加者を募集します。

申込方法=6月26

日(金)までに専用

フォームから申

し込む



スポーツ栄養教室



親子野球体験教室

スポーツ栄養教室

小学生に必要な食事や、運動の前後に取るべき栄養、夏場の食生活のポイントなどを学びます。

成長期の子どもにとって食事がいかに大切かを考えてみませんか。

日時=8月2日(日) 午後1時30分から

会場=なごみの米屋 スカイトウンホール

対象=小学生の子がいる保護者(子どもとの参加も可)

定員=100人(応募者多数は抽選)

親子野球体験教室

日時=8月2日(日) 午後3時30分から

会場=重兵衛スポーツフィールド中台体育館

内容=ティーバッティング、投球ゲームなど

講師=世界野球ソフトボール連盟・全日本女子野球連盟派遣のコーチ

対象=市内在住・在勤の保護者と4歳~小学2年生

定員=70組(応募者多数は抽選)

持ち物=運動のできる服装、上履き、飲み物

※くわしくはスポーツ振興課(☎20-1584)へ。



ボールをよく見てスイング

6月は環境月間

自然と暮らしを守ろう

毎年6月は「環境月間」、6月5日は「環境の日」です。市では、市民や事業者との協働で2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言し、持続可能で地球環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

未来の地球のために、できることから始めてみませんか。

省エネルギー設備の設置費用を補助します

市では、住宅用省エネルギー設備を設置した人に、設置費用の一部を補助しています。対象設備などの詳細は市ホームページで確認してください。

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。



市ホームページ

ごみの減量に



マイバッグ・マイボトルを活用する



プラスチック製容器包装は、資源物として白色の指定袋で出す



雑がみは不要な紙袋に入れ、十文字に縛って出す

水環境の保全に



食べ残しや油を台所の排水口に流さない